

# りそな 経済フラッシュ

## (日本7-9月期GDP1次速報値)

◎注意事項をよくお読み下さい

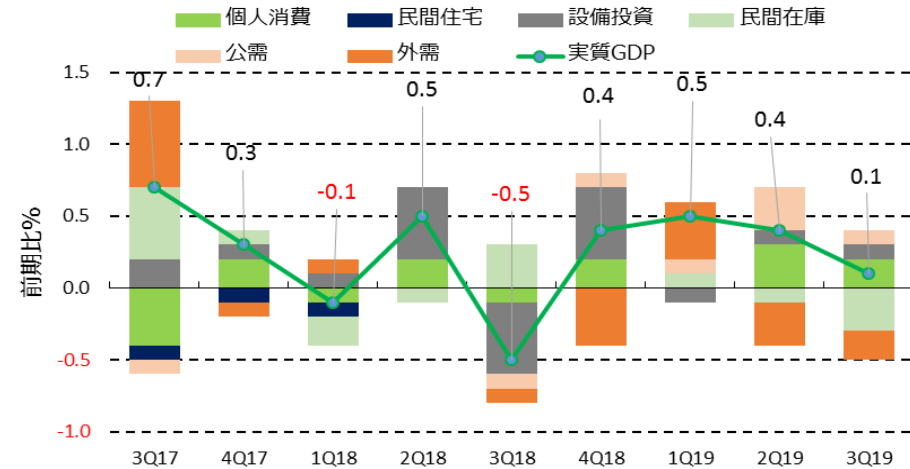


### 〇概況

- ◆7-9月期GDPは前期比+0.1%と4四半期連続プラス成長
- ◆設備投資は堅調、個人消費に増税前の駆け込みがみられるも外需や民間在庫が成長を下押し
- ◆GDPデフレーターは前年同期比+0.6%

- ✓ 2019年7-9月期実質GDP1次速報値は、前期比+0.1%（年率+0.2%）と辛うじて4四半期連続のプラス成長。市場予想（前期比+0.2%、年率+0.9%）は下回った。**個人消費が前期比+0.4%と消費増税前の駆け込みの動きもありプラス。設備投資は同+0.9%と市場予想並みの堅調な結果となった。**
- ✓ 一方、**民間在庫と外需が成長を下押し**。輸入が消費増税の駆け込みもある中で前期比+となるなか、世界経済の減速やインバウンドの減少により輸出が弱含みとなった。
- ✓ GDPデフレーターは前年同期比+0.6%、原油安による輸入デフレーターの下下がデフレーターの上押しにつながった。
- ✓ 今回の個人消費は予想を下回ったものの、消費増税の駆け込み需要が限定的という視点で見れば、政府の消費増税対策が一定程度の効果をもたらした結果ともいえる。2014年の消費増税時には1-3月の個人消費が+2.0%となった一方、4-6月期に▲4.8%と反動減が目立った。今回の増税後10-12月期は反動減は軽減されるだろう。。
- ✓ 消費増税の反動、台風の影響も懸念され10-12月期はマイナス成長が予想される。今後の焦点は反動減後の個人消費の回復と、弱さが続く輸出動向の反転となるう。

### 【実質GDP成長率 需要項目別（前期比）】



前期比%	2018		2019		
(前期比寄与度%pt)	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
実質GDP	-0.5	0.4	0.5	0.4	0.1
(民需)	(-0.3)	(0.7)	(0.0)	(0.4)	(0.1)
個人消費	-0.1	0.3	0.0	0.6	0.4
民間住宅	0.4	1.1	1.1	0.5	1.4
設備投資	-3.2	3.2	-0.4	0.7	0.9
(民間在庫)	(0.3)	(0.0)	(0.1)	(-0.1)	(-0.3)
(公需)	(-0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.3)	(0.1)
政府消費	0.2	0.7	0.0	1.2	0.5
公共投資	-2.5	-1.0	1.8	2.1	0.8
(公的在庫)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
(外需)	(-0.1)	(-0.4)	(0.4)	(-0.3)	(-0.2)
輸出	-1.8	1.1	-2.0	0.5	-0.7
輸入	-1.2	3.8	-4.1	2.1	0.2

【出所】内閣府、Bloomberg、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。